

# はたらくネット

企業で働く障害のある方や障害のある方を雇用している企業様の、「笑顔」とそれぞれの「想い」をお伝えします。

今回は、「みやぎ生活協同組合 榴岡店」様をご紹介します。みやぎ生活協同組合 榴岡店様は、2003年に開店しました。

現在、勤務する方の数はパート、アルバイトを含め約150名です。障害者雇用は、組合全体で推進されております。



宮城生活協同組合 榴岡店様 店舗外観

## 障害のある方を雇用している企業の方

みやぎ生活協同組合 榴岡店 様  
副店長 次田 朗 様

### <働くなかで大切にしていることは>



職場で障害のある方にこうしよう、ああしようとして取り決めてはいる訳ではありませんが、コミュニケーションは意識して取るようにしています。

担当支援員より：ご本人と一緒に働く現場の方からご提案頂き、ご本人のできている部分などを共有して頂く「連絡帳」を作成して頂きました。また、チーフが変わっても対応できるように引継ぎして頂いたり、次に品出しするものが分かるよう準備して頂くなどのご配慮を頂いています。ご本人の頑張りはもちろんですが、受け入れ先の企業様のご配慮もあって、就労継続できていると思います。

## 次田様にお聞きしました！

### (1) 障害のある方と働いていて、感じたことがあれば教えてください。

顔を合わせた時、きちんと目を見て挨拶してくれます。また、困ったことがあれば自分からSOSを出してくれるので、その点は安心しています。

障害の有無に関わらず、お互いに高め合っていければと思います。

### (2) 障害のある方と働く上で配慮した点は？

普段は、仕事をする一人のスタッフとして見ているので、障害についてはあまり意識していません。他のスタッフと同じように、自然に接しています。ただ、見かけたらマメに声をかけるなど、本人が孤立しないように気を付けています。本人に何か困ったことがあった際には、相談してもらえ関係が作れると良いと感じています。

### (3) 業務の切り出しはどのようにしていますか？

スーパーの業務内容は、ある程度決まっています。新たに切り出すというよりは、職場体験の実習等を通してその仕事ご本人にマッチするか見極めていきます。そのうえで、品出しや加工、惣菜の調理など、その方が無理なくできる業務に就いてもらっています。



### (4) 支援機関と関わるメリットは？

今のところ大きな問題はありますが、職場の体制が変わったり、本人の生活で何か変化があって会社が対応できない部分が出てくることもあると思います。そのときに相談できる先があるのは、大きなメリットだと思います。

## ～企業から一言メッセージ～

#### ○ 就職を目指す方へ

働きたいと思うのであれば、気後れすることなく思い切って飛び込んでほしいと思います。思いはそれぞれあると思いますが、まずはやってみてはどうでしょうか。

#### ○ 企業の方へ

障害者雇用に対して、そんなに構えなくても大丈夫だと思います。ただ、障害によってできないことがあるので、そこはお互いに確認しながら進められると良いと思います。

#### ○ 就労を支援している方へ

何かあったときに本人の話を聞いてもらえたり、相談させてもらえる場所があるのはありがたいと思っています。会社に言えないことも、安心して話せる人がいると良いですね。

## みやぎ生活協同組合 榴岡店様で仕事をしている障害のある方

### ○ 働くことになった経緯を教えてください。

以前は、仙台市が実施しているチャレンジ雇用の知的障害者非常勤嘱託職員として働いていました。そこでは雇用の期限があったので、次の職場を探していました。そのとき相談していた仙台市障害者就労支援センターから情報をもらい、職場の見学や実習をさせていただきました。

見学や実習をして実際の仕事の内容や職場の雰囲気を知ったことで、自分にもできる仕事だと自信を持って応募することができました。

<あなたにとってはたらくとは？>  
「将来的に自立するための手段」



企業名 みやぎ生活協同組合  
榴岡店 様  
氏 名 佐藤 一記 様

### ○ 働くにあたって、会社からどんな配慮をして頂きましたか？

指示を理解するのに時間がかかることがあるので、一つ一つゆっくり説明してもらいました。また、足にも障害があるので、痛みがある時は座って作業させてもらうなどしました。

### ○ 働いていて困ったことや大変だったことはありますか？

今はすっかり仕事に慣れましたが、慣れるまでは、色々なことを覚えるのが大変でした。一度覚えても、少し時間が空くとやり方に自信がなくなることもあります。そのときは、周りの方にもう一度やり方を教えて頂きました。



農産部門の高橋さん（写真右）  
「オールマイティーに動いてもらえて、とても助かっています」



バックヤードから売り場に出るところ。作業も手馴れています。



## ○ 働いてよかったことは？

分からないことを教えてもらったり、周りの皆さんに助けをもらいながら仕事をしています。お客さんから「ありがとう」と言ってもらえると、とても嬉しいです。

## ○ 支援機関から受けて良かったサポートは？

履歴書の書き方を教えてもらったり、面接の練習をしてもらいました。アドバイスをもらったことで自信をもつことができました。また、働き始めてからも職場に来てくれて、相談に乗ってもらっています。

## ○ これからの目標は？

間違えずに仕事をしたいです。それから、長く仕事を続けたいと思っています。親もだんだん年をとってきているので、楽をさせてあげたいと思っています。



売り場のとうもろこしが減っていたので、補充します。



佐藤さん「見栄えよく盛り付けることを意識しています」



発 行：仙台市障害者就労支援センター（指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会）  
住 所：仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階  
電 話：022-772-5517 FAX：022-772-5519  
Eメール：info@sendai-wsc.jp ホームページ：http://www.sendai-wsc.jp/